



派遣留学報告書

	記入日	2018年12月28日
氏名		
所属学部・研究科	年次（留学開始時点）	
学生番号		
留学先大学	カセサート 大学（国名：タイ・バンコク）	
所属学部・学科等名	Tropical Agriculture	
在籍身分	交換留学生	
留学期間	2018年08月04日～2018年12月27日	

1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	留学を経験したいという考えはずっとありました。ただ、留学費用だけが難点だったのですが、返済不要の奨学金制度と航空券の負担があるということで、この PEACE・AIMS プログラムに応募しました。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？）	予防接種や書類準備などは2年次から行なっていたと思います。それでも、準備が完了したのは出発するギリギリだったと思います。
事前準備について（どのような準備をしたか、しておけばよかったか）	予防接種は早いに越したことはないのですが、留学を決意したなら、合否関係なく行くのが良いと思います。また、英語力をもっと上げて、留学先の授業で困らないようにしとけばと少し後悔しました。

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：ED VISA
	ビザ申請先：タイ国大使館
	提出書類：申請書、パスポート、写真、お金
	手続きに要した日数：1～2週間
その他必要な事前手続き	
出国年月日	2018年08月04日
経路（往路）	広島空港→羽田空港→スワンナプーム空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 ・ その他） <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	8月6日にカセサート大学の紹介、授業の取り方、軽く交流する機会などがありました。

帰 国 年 月 日	2018年12月27日
経 路 (復 路)	スワンナプーム空港→羽田空港→広島空港

3. 留学費用について

支 出 額	総額	393500	円	
	内 訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	55000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	65000	円
		光熱費	8000	円
		食費	110000	円
		交通費（宿舍－大学間）	500	円
		交際費	5000	円
		その他（娯楽費） （生活消耗品費）	150000 5000	円 円 円

4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	授業は8月上旬に履修登録期間があり、1回目の授業の様子をみて選ぶことができます。12月中旬ぐらいまで行われ、一回の授業時間は3時間となっています。自分は火・水・木に授業を4つ入れ、3つはセメスター制の午前授業で、残り一つは火・木の夕方から始まるターム制の授業を受けました。そのため10月中旬からは、午前授業を3つ受けていました。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	授業は英語で行われ、一回3時間という、慣れていないと過酷なものなので、普段から授業に対する忍耐力をつけること、英語を聴くということは本当にしておいた方が良く身にしてみても感じました。また、カセサート大学での授業は、グループワーク・プレゼン発表の機会がたくさんあるため、最低限話せる力も持っていないと、周りからあまりいい評価を受けないと思います。テスト勉強も1-2週間前から始めるのが良いと思います。

基本は半袖半パンです。自分はタイで買えば良いと思ってあまり服を持って行きませんでした。数枚は持って行くことを進めます。また、1回洗濯するのに100円くらいお金がかかるので、パンツ等下着類は多めに持って行くことをお勧めします。タイの空調は効きすぎるので、上着も1-2枚持って行くと思わないと思います。

(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）

大学内には、プールやジムなど多く運動施設があり、学生証があれば安くもしくはタダで利用できます。タイは道路環境が悪いので、ランニングを外ですることは難しいと思います。ですので、ジムに行ったりして体を動かすのも良いと思います。その他図書館などもありました。Wi-Fiは大学では繋がりがやすいですが、寮にあるWi-Fiはあまり良くないので期待はしない方が良いでしょう。携帯は1ヶ月2000円くらいでタイの携帯会社と契約しました。無制限使い放題で、電波も良いと思います。

(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）

オリエンテーションでタイの学生とバディーを決めたのですが、そのバディーと2・3回遊びました。いつも立ち寄っている寮の前にある屋台のおばさんととても仲良くなりました。ほかにも、1回しか利用したことないのに、バイクタクシーのおじさんたちと仲良くなって、いつもすれ違うたびに声を掛け合っています。おばさんもバイクタクシーのおじさんたちもタイ語しか話せませんが、笑顔で楽しく振る舞えば言語関係なく誰とでも仲良くできるということを学びました。

(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと

上下関係がしっかりしていて生徒も先輩や先生には両手を合わせて、挨拶をしている場面をよくみました。ですので、先生に挨拶する時は、両手を合わせて挨拶した方が良いでしょう。一方で、タイ人は時間にルーズなのか授業には平気で毎回遅れてくる、何回も出席しないなどがありました。授業中何も気にせず友達と会話をすることもあります。人にもよりますが、自分はそういう点はかなり気になりました。

(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの

持って行くべきもの
服、下着類多め、洗顔、薬、化粧水、タオル、マスクや爪切り、
持って行くべきでないもの
シャンプーや洗剤などはタイでも普通の値段で売っていて、タイ語でもパッケージでわかるので、持って行く必要はないと思います。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

折り畳み傘は雨季には必須だと思います。また、タオルやパンツなどは、ちゃんとしたものはなかなか値段がするので、持って行くことを勧めます。

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2020年3月（当初の卒業予定年月 2020年 3月）
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	就職したいけど留学を考えている方は、留学中も、就職のことを意識しておいた方が良いでしょう。日本の学校生活においては単位を落とさなければ、特に意識することはないと思います。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細（出版社、URL等）	コメント

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

初めは、英語で話すことに慣れていないため話すことが怖いと感じていましたが、同じ寮に住むインドネシア人とコミュニケーションを取る中で、徐々に自然と英語を話すようになっていました。語彙力はないですが、伝えようと思えば伝わるし、普通に会話できます。皆とても良い人たちで楽しかったです。日中暑いという点を除けば、食費も安く過ごしやすいところだと思います。

後輩へのメッセージ：

留学を悩んでいる、もしくは考えている方へ

不安が多いと思いますが、とてもいい機会です。自分の拙い英語力でどのように表現するか、タイ語しか話せない相手にどう行きたい場所を伝えるかなど、コミュニケーション能力をとっても高めることができます。インドネシア人やタイ人とのつながりを深めることができます。日本のトイレの良さ、道路整備の良さなど改めて良いところがわかります。長期留学できる機会は大学のうちだと思います。

9. 自由記述 (1200 字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

学習に関することは、アドバイスをしようと思います。学校生活においては、授業は1コマ3時間、全て英語で行われます。レジュメも配られますが、その量はとても多く、一回一回の授業に集中しないと、テスト期間の時に大変だと思います。また、大事なところの英語は聞き逃さないようにして、わからないところがあれば、先生に聞くということがよりいっそう大事だと感じました。英語で質問するのは、難しいと感じるかもしれませんが、先生方も親身に回答して下さるので安心してください。また、テスト期間中は、寮の一回にスタディールームがあるのでそこで勉強するのが良いと思います。ただ、期間中は人が多く席が取れない場合もあるので、気をつけてください。テストは選択肢の問題もあれば、長文記述、意見を書く等色々なパターンがあります。ですので、前日に勉強してテストに挑むことはやめた方が良いと思います。自分のためにも、テストで良い点を取るためにも、数週間前から勉強、もしくは授業終わり毎に、寮で復習をするなど工夫をしたら良いと思います。自分は、数週間前から勉強を始めて、その際わからない英語は日本語に翻訳して、レジュメを読んでいました。レジュメ全部の英語を翻訳しようと思ったら、とんでもない量になってしまうので、効率よく進めていくのが良いと思います。また学校生活以外にも、英語を話したり、身に付けたいと考えている方は、周りにタイ人・インドネシア人が多くいるので会話をしてみると良いと思います。英語圏の人たちではないですが、確実に日本人より英語が話せるという印象でした。

また日常生活においては、休日に色々なところへ行きました。公共交通機関はバスが一律片道20-40円で、タクシーも初乗り100円くらいと非常に安いです。ですので、バンコク都内に安価で出ることができ、ショッピングや映画、ボウリングなど娯楽もできます。その他にもタイ国内を東西南北たくさんのおところに行きました。夜行バスや電車で行ったのですが、予約などもサイトで方法を調べて駅へ行けば駅員さんがやってくれます。タイは仏教信仰なのでお寺、大仏様が多く建てられています。お寺の歴史を学ぶのも良いと思います。バンコクは都会でビルが多く息苦しいですが、バンコク都外へ出れば、自然が多くリラックスすることもできます。タイ語しか話せない人もいて会話は成り立たないけど、それもまた国外での生活だと思いながら楽しみました。

寮では、一階のコモンルームというところでご飯を食べていたので、自然と同じ寮に住む人たちと仲良くなれます。自分と友達は仲良くなったインドネシア人と一緒に夜映画を部屋で見たり、誰かが誕生日の時には、みんなで誕生日パーティーをしたりしました。ほかにも、一緒に大学のコートでバドミントンをしたり、たくさんの交流がありました。初めは英語力を上げたい、外国に行く機会が欲しいという目的だった留学でしたが、それよりも多くの出会い、経験があり日本では絶対体験出来ない、非常に有意義な生活を送れました。

